

横越町をもっとよく知ろう!!

史跡・遺跡を巡る

よこごし健康ウォーク

とき 平成12年10月8日(日曜日)

地域公民館連絡協議会(会長 宮沢才次郎)では秋の1日、史跡・遺跡を巡りながら横越をもっとよく知り、町民同士の親睦を深め、そして健康増進を目的として「よこごし健康ウォーク」を開催します。お子さんからお年寄りまで多数の参加をお待ちしています。

コースは

町内全域がコースになっています。各地域のスタート地点から出発し、町内の史跡・遺跡をめぐりながら最後は自分の地域に戻ります。各自の体力に合わせて歩く距離を考えましょう。地域公民館で考えたコースもあります。

休憩所・トイレは

各地域で1ヵ所準備します。
各地域公民館では独自のスタンプを用意しています。史跡・遺跡巡りの通過確認証としてスタンプを押します。

参加申し込みは

9月上旬にチラシと参加申込書を配付しますので、各地域公民館に申し込んでください。

史跡・遺跡とは

史跡は7か所、遺跡は28か所となっています(指定文化財は10)。各地域の見どころで地域公民館が参加者をお待ちしています。

くわしいことは各地域公民館または中央公民館へお問い合わせください



2000 ふれ愛フェスティバル

ご家族、お友だちをお誘い合わせの上ご来場ください。

- ▶日時 9月23日(例) 午前10時～午後5時
9月24日(日) 午前10時～午後3時30分
- ▶会場 新潟ふれ愛プラザ(亀田町向陽1 亀田駅東口近く)
- ▶内容 ①障害児・者の作品展、②障害者雇用促進パネル展示、③福祉機器・車両展、④ふれ愛食の陣、⑤ふれ愛茶会、⑥ふれ愛バザー、⑦ふれ愛コンサート

市民講座「障害者の雇用を考える市民の集い」

- ▶日時 9月23日(例) 午後2時～3時30分
- ▶会場 新潟ふれ愛プラザ
- ▶演題 「当社の障害者雇用について」
- ▶講師 新潟県基準寝具(株) 専務取締役 渡邊儀衛氏
- ▶問い合わせ 新潟県障害者交流センター
☎381-8110、FAX 381-1478

感動のアニメ

ハッピーバースデー 上映会

ひたすら親の愛を求める子どもたち。でも、ときとして裏切られ深く傷ついてしまうことがある。12歳の少女が「おまえなんか生まなきゃよかった」と母に否定され、傷つき声を失う。この悲しみから希望の旅立ちまでを感動的に描きます。ぜひ親子で鑑賞しませんか。

▼日時 9月9日(土)
午後1時30分開場、2時開映

▼場所 新潟ふれあいプラザ(亀田町向陽1)

▼参加費 大人 500円
子ども 300円

▼問い合わせ
横越町中央公民館 目黒
☎385-2043

9月は「障害者雇用促進月間」です。(厚生省)

米の品質向上を目指し 危機突破生産者大会開催

8月18日、亀田町・横越町、亀田郷みなみ農協、亀田郷土地改良区などの共催により、危機突破生産者大会がサンウイング横越で開催され、生産者など約300名が参加しました。

この大会は、昨年産米が夏の異常高温という気象的要因などにより、豊作だったにもかかわらず大幅な品質低下が目立ったことから、今年産米の品質向上と消費者への信頼回復を目指し

開催されたもので、主催者の亀田郷みなみ農協の今泉代表理事組合長は「高温障害やカメムシ被害を克服し、ていねいな管理・乾燥などにより上質なお米を作りましょう」とあいさつ。

新潟農業改良普及センターの堀班長代理から水稲の育成状況について話があったの続き、「消費地における新潟米の評価と今後の課題」と題して、(株)東光食糧の屋代代表取締役から基調講演



猪 秀人君 中村祐紀君

サッカー県小学生代表チームに 町内から2名の小学生が参加

2002年サッカーワールドカップの日本・韓国共同開催を記念し、両国の交流を深めようと、県の小学生代表チームが8月1日から3日までの日程で韓国で交流試合を行ってきました。

県代表チームには県内から15名の小学6年生が選ばれ、町内からも猪秀人君と中村祐紀君の2名が参加。2人は町サッカー少年団に所属し、猪君は1年生から、中村君は4年生からサッ

カーを始めています。韓国・ソウルでは、地元選抜チームとの試合を通して交流を深めたほか、ワールドカップスタジアムなどを見学。

2人は今回の韓国チームとの試合を振り返り、「韓国の小学生は体力があり、スピードがあった。試合は負けたけど、この悔しさを忘れないで、将来のワールドカップでの優勝を目指してがんばりたい」と抱負を語りました。



亀田・横越産米危機突破生産者大会

演があり、会場内では真剣にメモをとる姿が見られました。最後に「多肥栽培はせず、こまめな水管理など品質・食味を重視した栽培に取り組み、1等米比率を95%以上にしよう」と決意表明がされました。



8月6日(日)、木津農業構造改善センターにおいて、新潟県各派遣合併句大会が開催されました。

この合併大会は木津在住の坪谷十九一(本名 坪谷徳一)さん

- 兼題の部
1位 三条市 捧喜香
 - 席題の部
1位 木津 今井天花
 - 一句競詠の部
1位 木津 今井夫子
- 参加者は無言で俳句作りに全神経を集中させ、限られた時間の中で最高の俳句を作るために一生懸命考えていました。表彰式では和やかな雰囲気の中、受賞者に惜しみない拍手と声援が送られました。
- 結果は次のとおり。

稲わらの焼却は 絶対にやめましょう!

稲わらなどの焼却は、ぜんそく、のどや目の痛み、洗濯物が臭くなったり、煙が立ち込めて車の通行に支障が出るなど、私たちの環境に大きな影響を及ぼします。

稲わらやもみからは貴重な有機物資材です。稲わら等の秋すき込みにより堆肥施用と同等な効果が望めます。

稲わら等を分解する土壌微生物は地温が15℃以上で活動が盛んとなるため、地温の高い10月20日頃までを稲わら等の秋すき込みの目安とします。稲わら等の分解が進む時期に早めにすき込みましょう。

稲わらの焼却をやめ、秋すき込みによる土壌づくりや、収集による園芸・畜産への利活用を進めましょう。

新潟県各派遣合併句大会開催

んの句集「走馬灯」の発刊を記念して、中央公民館が主催し、小阿賀吟社が主管となって行なわれたもので、県内各地から68名の俳句愛好家が参加。